

2/2
赤旗

生活保護・国保改善を

福井 反貧困連絡会が市に要望

福井県の「反貧困連絡会」は1月27日、生活保護と国民健康保険の制度改善を福井市に要望しました。鈴木孝典代表が市役所を訪れ、日本共産党的鈴木正樹市議が同席しました。

電の修理・買収替え時の援助、賃貸住宅更新料への住宅扶助支給、保護受給中の地方税滞納処分の停止などを要望しました。国保では、保険税引き下げ、保険税滞納者からの保険証取り上げ中止、差し押さえ禁止、財産の厳守など

応対した生活支援課の清水俊弘課長らは家電の修理・買い替えには「社協の貸付金を」、更新料は「(保護費)で出してくるケースもある」と答えていました。

税金滞納分に充てることによって「目的外使用として返還の対象になる」と答えた。余創は、「賃料金は）あくまでも借金だ。毎月返済で苦しくなるのはわかりきっている」とし、更新料分の支給は「申請に来ただけでしょ。知らない人がほとんどだ」と改善を求めました。